

科目名	行動生理学	
担当者	山口 勝機 / YAMAGUCHI, Katsunori	
科目情報	心理臨床<基礎> / 選択 / 前期 / 講義 / 2単位 / 3年次	
	読替科目：平成22年度以前入学生「行動生理学Ⅰ」	
科目概要	授業内容	大脳皮質の運動機能、感覚機能、連合機能についてまた言語、記憶、生体のリズム、睡眠について学びながら、脳と心の関係について理解を深める。
	到達目標	大脳の働きについて学び、その機能局在を理解する。左右大脳半球の働きの違いについて学び、その違いが分離脳の研究に基づいていることを理解する。
授業計画	(1) 脳研究の歴史 (2) ニュ - ロンの働き - 1 - (3) ニュ - ロンの働き - 2 - (4) 脳の進化と発達 (5) 大脳皮質の働き - 運動と感覚 - (6) 大脳皮質の働き - 連合野 - (7) 大脳皮質の働き - 言語 - (8) 大脳皮質の働き - 言語 - (9) 左右大脳半球の働き - 動物の分離脳を中心に - (10) 左右大脳半球の働き - ヒトの分離脳を中心に - (11) 脳と記憶 - 1 - (12) 脳と記憶 - 2 - (13) 生体リズム - 視交叉上核 - (14) 睡眠 (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	・講義内容に関連する図書を読むこと。
使用教材・参考文献	【教】講義の時にプリントを配布する。 【参】松澤大樹編著 『目でみる脳とこころ』 NHK出版 2003年	
成績評価方法と基準	筆記試験により判定する。大脳皮質や左右大脳半球の基本的な働きについての理解が達成されたものは合格とする。	
備考		